



ともそだち通信 No.20 みどりのそよかぜ5月号 平成23年

発行：日立市教育委員会生涯学習課 家庭教育サポーター

問い合わせ先：サポーター専用電話 0294-23-9157

ともそだち・・・

親と子が共に育ちましょう
親と親も共に育ちましょう
サポーターも共に歩みます

みなさん、お元気ですか？

新年度を迎えて、ひと月が過ぎました。

新しい毎日に慣れ、お子さんも親のみなさんも、一息ついた頃でしょうか？

また今回の震災を体験し、大人も子どもも戸惑いの多い春でしたね。

水くみも買い物も行列が当たり前では、

小さいお子さんのいるご家庭では特に、苦労の連続だったでしょう。

大人にとって辛い体験であったように、

元気に見える子どもの心にも大きなインパクトがありました。

どうぞ、お子さんの心に寄り添って、安心させてあげてくださいね。

ワンポイントアドバイス - 大きな出来事の後には -

大震災など大人にとって衝撃的な事態は、幼い子どもにとっても大きな出来事です。子どもは不安な気持ちをうまく表現できないため、甘えん坊になったり、ぐずったりすることがあります。突然の赤ちゃん返りに戸惑うこともあるでしょう。また、泣かなくなったり、表情が乏しくなることもあります。大人が落ち着かない状況ではあっても、子どもたちが安心するような環境を作ることが大切です。

- こまめに声を掛けてください。
- 抱っこしたり手をつないだり、スキンシップをたくさんとってください。
- 子どもを一人にせず、できるだけ子どもに姿が見える所にいてください。
- ニュースなど、悲惨な災害の様子を長時間見せることは避けてください。



♪ 新入園児さんのパパ・ママへ ♪

入園しても、すぐにお友達ができるわけではありません。個人差もあるし、気があう子、あわない子いろいろいます。

お子さんは園で我慢していることもあるので、おうちに帰ったら、お子さんの話を「がんばったね」「つらかったね」などと、共感して聞いてあげてください。その言葉がエールになり、お子さんはまたがんばれるのです。

(櫻井恭子先生の講演より)



「発達段階に応じた 親の学び講座」について

- ・ 今年度は、成長の過程に応じた親のかかわり方から、3つのテーマを決め、それぞれ2回連続の講座を開催します。
 - 講座①：専門家の講演を聴きます
 - 講座②：お母さん同士の話し合いと、親子で遊びの体験をします
- ・ テーマに沿って、子どもとの関わり方や、遊びの際のポイントを学びます。
- ・ 詳細は市報や市のホームページでお知らせします。どうぞお申込みのうえご参加ください。

テーマ	遊びの体験	対象	実施
「生活習慣としつけ」	ままごと遊び	1～3歳児親	7月
「幼稚園入園に向けて」	スタンプラリー	3・4歳児親	10月
「社会性の発達」	小麦粉粘土遊び	1～3歳児親	12月